2013年04月版

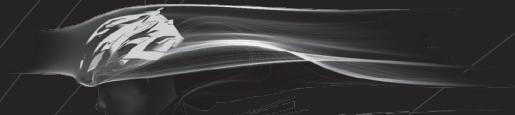
KOOFU

WG-1

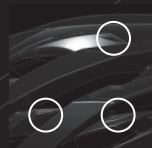
取扱説明書

KOOFU CONCEPT

光風 かぜをてらす　香風 かぜをかおる　好風 かぜをこのむ　幸風 かぜをねがう
効風 かぜをみる　交風 かぜをいきかう　考風 かぜをおもう　…
風を楽しむ

KOOFU / WG-1
FUNCTION 1

ダブルレイヤードシェル構造

WG-1は2つのシェルを立体的に重ねた"ダブルレイヤードシェル構造"を採用し、軽量化と衝撃吸収性能を両立。大きなシェル面構造とシャープなエッジで構成された形状は、社内風洞設備を最大限に活用して帽体形状を見直すだけでなく、最適なエアルートを確保するためレーシングカーの設計などにも活用される最新鋭のCFD(3次元数値流体解析)を駆使し、ヘルメットの内面の形状まで解析。"ボルテックスジェネレータ"の効果とあいまって積極的な整流効果を実現しました。

KOOFU / WG-1
FUNCTION 2

ボルテックスジェネレータ

WG-1はさまざまなライディングポジションでの整流効果を均一化させるため、"ボルテックスジェネレータ"を採用。通気孔前側のシェル表面に突起を設けることにより、通気孔付近の空気の流れを積極的に剥離させ「意図的な乱流」を発生、ヘルメット内部からの熱気を効率よく引き出す事に成功しました。

TRIFIT アジャスター

WG-1に合わせて新設計されたTRIFITアジャスターは大型のサポートパーツを新たに設け、ハードなライディング時のヘルメットのブレを低減。機構部分の構造見直しにより締め付け力も大幅に向上し、しっかりとしたホールド感を得られます。また、ヘルメット本体に固定するためのバスケットをダブルに配置する事で、調整範囲を大幅に拡大しています。

ご使用になる前に

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、ヘルメットの正しい取扱方法について説明しております。ご使用前には必ず最後までこの説明書をお読みいただき、お読みの後は当説明書を大切に保管していただきますようお願いいたします。
ヘルメットは、いかなる事故にも絶対という訳ではなく、万一の際に危険の度合いを減らす装備の一つで、安全の一要素としてご理解のうえご使用ください。
安全快適なバイシクルライフを楽しむためにも、以下の注意事項をよくご理解いただきますようお願いいたします。

⚠警 告

- このヘルメットは**「自転車専用」**です。オートバイやその他の用途には絶対に使用しないでください。
- 国で定められている交通規則に必ず従ってください。

使用素材についての特徴説明

■瞬間消臭素材「MOFF」について

当製品のチンストラップ本体およびA.Iネットのメッシュ部分には、ナノテク技術を利用した従来とは全く異なる新しい消臭方法を採用した素材「MOFF」を使用しています。「MOFF」は瞬間消臭･抗菌効果･安全性を合わせ持った次世代の消臭繊維です。

※MOFF素材のお手入れについて

汗などで汚れた場合のお手入れは、水もしくはぬるま湯（35℃以下）のみで軽くすすいで汚れを落とし、しっかり水気を拭き取ってから陰干しするとMOFF本来の効果が持続できます。なお洗浄剤を使用する場合は、中性の洗濯用洗剤を使用してください。
（アルカリ性洗剤はMOFFの効果が減少しますので使用しないでください）

■汗を素早く蒸散し、いつもサラッと快適。

カラダから発汗すると「クールマックス®」は水分を外へ排出し、空気が外部から入り込んで、冷却･乾燥させる効果があり、体表温度を下げ、優れた水分調整機能を発揮します。「クールマックス®」は、自然な風合いを持ち、ソフトで軽量、通気性にも優れています。

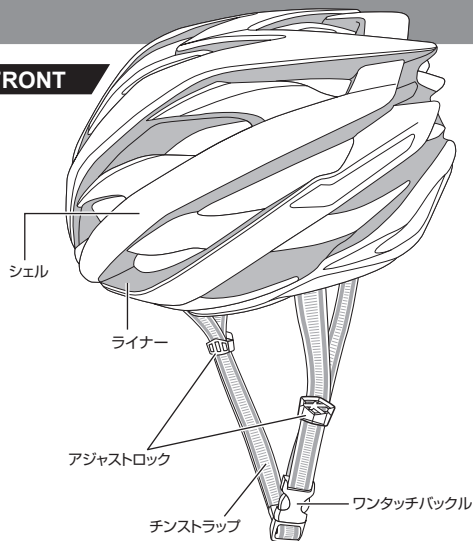
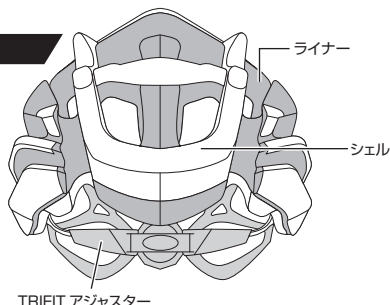
※「COOLMAX®」および「クールマックス®」は、インビスタ社の登録商標です

部位名称ともくじ

FRONT

シェル
ライナー
アジャストロック
チンストラップ
ワンタッチバックル

REAR

ライナー
シェル
TRIFIT アジャスター

KOOFU CONCEPT・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
ご使用になる前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
使用素材についての特徴説明・・・・・・・・・・・・・・・・3
部位名称ともくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

01 チンストラップについて・・・・・・・・・・・・・・・5
- ワンタッチバックルの着脱・・・・・・・・・・・・・・・5
- チンストラップの長さを調整する・・・・・・・・・・・・5
- アジャストロックの高さを調整する・・・・・・・・・・・6

02 TRIFIT アジャスターについて・・・・・・・・・7
- TRIFITアジャスター･ダイヤルの調整方法・・・・・・・7
- TRIFITアジャスターのポジション変更・・・・・・・・・7
- TRIFITアジャスターの脱着・・・・・・・・・・8
- 別売「TRIFITアジャスター」について・・・・・・・・・8

03 インナーパッドについて・・・・・・・・・・・・・9
- A.Iネット(Anti Insect Net)および Winterインナーパッドの取付位置・・・・・・・・・・9
- ノーマルインナーパッドセットの取付位置・・・・・・10
- インナーパッドのお手入れについて・・・・・・・・・・・10
- 別売「WG-1･補修用パッドについて」・・・・・・・・・・10

04 正しい位置でヘルメットを装着する・・・・・・11

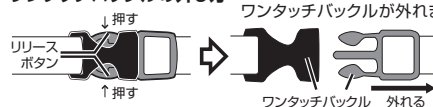
⚠警告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

English Manual・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

01 チンストラップについて

チンストラップは万一転倒などアクシデントの際に、ヘルメットが容易に脱落しないようにする重要なパーツです。ヘルメット本来の性能を発揮させるためにも、「チンストラップの長さ」や「アジャストロックの位置」を適切に調整し、「ワンタッチバックル」を正しく留めてください。

ワンタッチバックルの着脱

ワンタッチバックルは、チンストラップの両先端に付いている保持装置のことです。

⚠ 警 告

●チンストラップは正しくしっかり締めてください。締めないままの走行は、万一転倒した際に大変危険ですので、絶対におやめください。

●ワンタッチバックルは必ず最後まで（カチッと音がするまで）きっちり留めてください。
留めかたが不完全ですと、万一転倒した際にワンタッチバックルが外れてしまいヘルメットが脱落してしまうおそれがあります。

チンストラップの長さを調整する

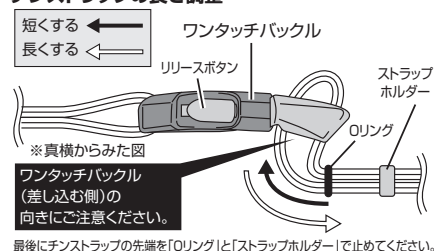
ご使用前に必ず試着し、調整しましょう!

あなたの頭にぴったりフィットするようチンストラップの長さを必ず調整しましょう。チンストラップの長さは、ワンタッチバックルを締めたとき、指が2〜3本入る程度が一般的です。

ご使用前に必ず試着を行い、「チンストラップ」の長さや「アジャストロック」のロック位置、「TRIFITアジャスター」の締め具合などを適切に調整し、あなたの頭にぴったりフィットするようにしてください。

※「TRIFITアジャスター」の調整については「02TRIFITアジャスターの調整」を参照。

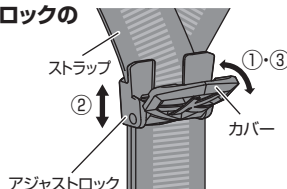
チンストラップの長さ調整

最後にチンストラップの先端を「Oリング」と「ストラップホルダー」で止めてください。

⚠ 警 告

●チンストラップをワンタッチバックルに通す際、図以外の通しかたをすると、転倒などで強い力が加わった際、ワンタッチバックルからチンストラップが滑り抜けてしまい、ヘルメットが脱落するおそれがあり大変危険です。バックルへは必ず図の通り正確に通してください。
●ワンタッチバックル（差し込む側〈赤い方〉）の表裏を間違えると、転倒などで強い力が加わった際、ワンタッチバックルからチンストラップが滑り抜けてしまい、ヘルメットが脱落するおそれがあり大変危険です。

アジャストロックの高さを調整する

ワンタッチバックルを留め、しっかり顔の側面に合うように「アジャストロック」の位置を調整します。
チンストラップのⒶの部分がすっきり収まっているか確認してください。
このとき、耳の辺りが緩いまたはきつい場合は「アジャストロック」を移動させて高さを調整します。

●アジャストロックの移動方法

①アジャストロックのカバーを矢印の方向に開きます。

②アジャストロックを正しい高さに調整します。

③高さが決まったら、アジャストロックのカバーを「パチン」と音がするまで元通りに閉じます。

❗ ご注意

アジャストロックの調整後は、必ず最後までロックしてください。
ロックされていないまま使用すると、アジャストロックの位置が正しく保てない場合があります。

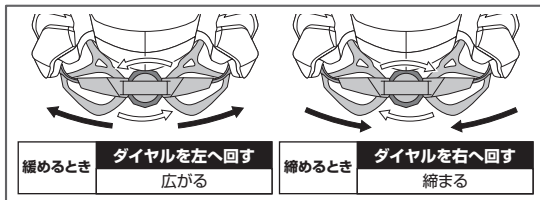
02 TRIFITアジャスターについて

「TRIFITアジャスター」は、ヘルメットのズレやブレを抑えるために、ヘルメット後頭部に装備されたサイズ調整機構の事です。あなたの頭にぴったりフィットさせ、しっかりホールドするように、TRIFITアジャスターを調整しましょう。

TRIFITアジャスター・ダイヤルの調整方法

はじめにTRIFITアジャスターのダイヤルを適度に緩めてからヘルメットをかぶり、ヘルメットの前部を押さえながら、ダイヤルを適度に締めてください。

緩めるとき	ダイヤルを左へ回す
	広がる

締めるとき	ダイヤルを右へ回す
	締まる

ご注意

- アジャスターの調整は必ずダイヤルをご使用ください。ダイヤルを使わず無理に広げるなどすると内部の機構が破損します。
- 長髪のかたなどは特にアジャスター部に毛髪が絡まないようご注意のうえ調整を行ってください。

ヘルメット前部を押さえながら、TRIFITアジャスターのダイヤルを適度に締めます。

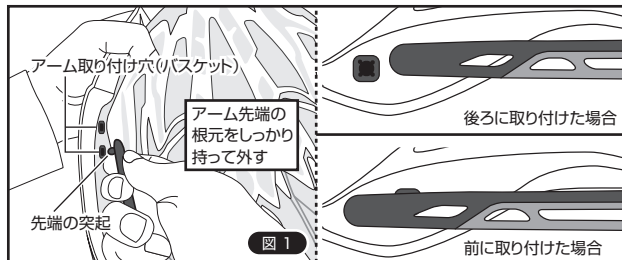
TRIFITアジャスターのポジション変更

TRIFITアジャスターは、前のアーム部が前後2段階、後部が上下3段階にポジション調整が可能です。
これによりご自分の頭に合わせてさらにジャストフィットさせることができます。

■アームの位置を変える（前後2段階）

アーム取り付け位置を前もしくは後ろの位置に変更する場合は、アームの取り付け部根元付近をしっかり持ち、ゆっくり手前に引っぱると外れます。取り付ける場合はアーム先端にある突起を取り付け穴（バスケット）に強く押し込みます。（図1）

※TRIFITアジャスターを最大限に締めてもまだ緩い場合は、アームを前側に取り付けてください。
※ご購入後初めて取り付け穴（バスケット）に突起を差し込む際、取り付け穴（バスケット）がライナーで塞がっている場合がありますので、少し強めに押し込んでください。

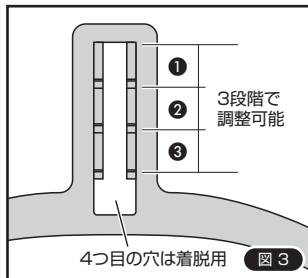
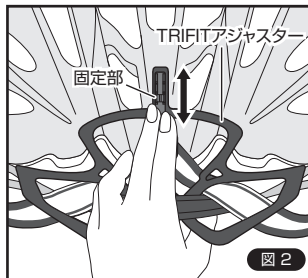
図 1

■TRIFITアジャスターの角度を変える（上下3段階）

TRIFITアジャスターの固定部付近をしっかりと持ち、3段階のいずれかの角度に移動させて合わせます。（図2）　なお固定部にある4段階目の大きな穴はTRIFITアジャスターを着脱するための穴です（図3）。調整時、勢いよくこの穴まで移動させるとアジャスターが外れてしまいますので、角度調整の際はゆっくり移動させてください。

! ご注意

TRIFITアジャスターの角度を調整する際は、必ずアジャスターの固定部付近を持って調整してください。また調整の際、アジャスターをねじったり無理に移動させたりすると破損の原因となりますのでご注意ください。

図 2

図 3

TRIFITアジャスターの脱着

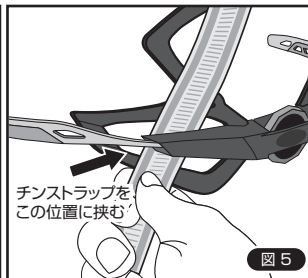
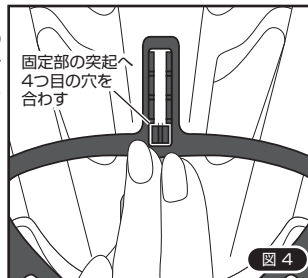
■取り外しかた

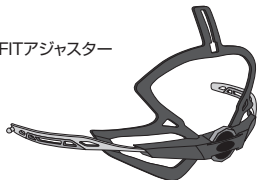
TRIFITアジャスターの固定部付近をしっかりと持ち、（図3）の4段階目の大きな穴まで移動させると固定部が外れます。（3段目と4段目の間はすこし固くなっています）次に前のアームの取り付け部根元付近をしっかり持ち、ゆっくり手前に引っぱると外れます（左右とも外してください）。

■取り付けかた

アーム先端にある突起をヘルメット前部にある取り付け穴（バスケット）に強く押し込みます。次にヘルメット後頭部にある固定部の突起へTRIFITアジャスターの4つ目の穴を合わせ、押さえながらスライドさせると取り付けできます。（図4）取り付け後はTRIFITアジャスターへチンストラップが（図5）のようになるよう挟んでください。

図 4

図 5

（別売）「TRIFITアジャスター」について

別売･TRIFITアジャスター

「TRIFITアジャスター」は、
補修用としてもご用意しております。

「別売･TRIFITアジャスター」について詳しくは、当製品掲載のカタログもしくはホームページに掲載のパーツリストをご覧ください。

Kabuto　検索

! ご注意

弊社製品のアジャスター各種は、各モデルの専用設計となっております。
補修用をお買い求めの際には、ご使用のヘルメットに適合した部品をお買い求めください。

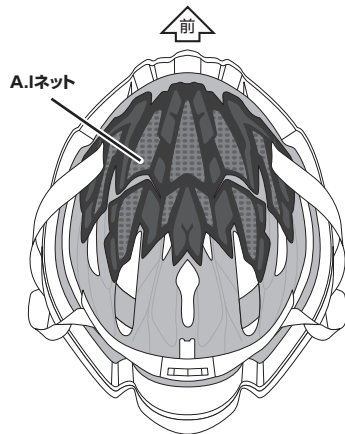
03 インナーパッドについて

この製品は、用途やフィッティング、季節などに合わせて使い分けができる「3種類」の内装が付属されています。
お好みによりパッドを取り替えてください。※標準は「A.Iネット」が装着されています。

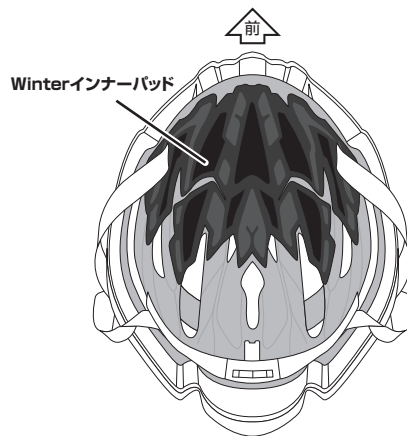
A.Iネット（Anti Insect Net）およびWinterインナーパッドの取付位置

下図のようにインナーパッドをヘルメット本体内部にあるマジックテープに押し付けて貼り付けます。

■A.Iネット ※標準装着

- エアインテークからの虫の侵入防止に。
- フィッティングを求めるかたに。

■Winterインナーパッド ※同梱品

- エア導入効果を抑えたい冬場などに

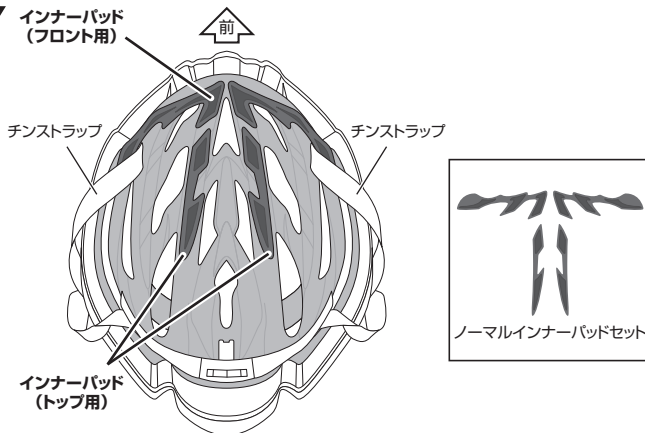
ご注意

快適な装着感を得るためにも、インナーパッドは正しく取り付けてください。

ノーマルインナーパッドセットの取付位置

■ノーマルインナーパッド ※同梱品

● エア導入効果をさらに求めるかたに。

WG-1ノーマルインナーパッドは、2種類（5mm10mm）の厚みの違うパッドを付属しています。
フィッティングに合わせて厚みを変更してください。
取り付けは図のようにインナーパッドをヘルメット本体内部にあるマジックテープに押し付けて貼り付けます。

ご注意

快適な装着感を得るためにも、
インナーパッドは正しく取り付けてください。

インナーパッドのお手入れについて

汗などで汚れたインナーパッドは、取り外して洗うことができますので、定期的にお手入れすることでインナーパッドを清潔に保てます。インナーパッドを洗う場合は、水もしくはぬるま湯（35℃以下）にごく少量の洗髪用シャンプーもしくは家庭用中性洗剤を入れ、やさしく手もみ洗いを行ってからよくすすいでください。洗い終わったら乾いた布などで水気をやさしく取り除き、直射日光の当たらない風通しのよい場所で陰干しを行ってください。※ MOFF素材のお手入れについては3ページをご覧ください。

（別売）「WG-1・補修用パッドについて」

インナーパッドは消耗品です！

常日ごろより使用されているヘルメット内部のインナーパッドは消耗品です。傷んだインナーパッドをそのまま使い続けると破れてしまい、フィット感などに悪影響をおよぼしかねません。古くなったインナーパッドは、早期に交換されることをお薦めします。

WG-1・補修用インナーパッド各種について詳しくは、当製品掲載のカタログもしくはホームページに掲載のパーツリストをご覧ください。

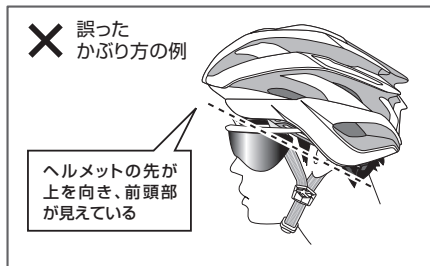
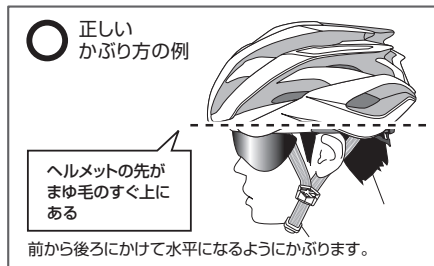
Kabuto　検索

ご注意 別売のインナーパッドセットをお買い求めの際は、お使いのヘルメットのモデルをよくご確認のうえ、販売店などへご注文ください。

04 正しい位置でヘルメットを装着する

ヘルメットを前から後ろにかけて水平になるように着用してください。このときにヘルメットの先端がまゆ毛のすぐ上にない場合は、正しく装着できていません。（装着の際は鏡を見ながら調整してください）また、チンストラップの長さやアジャストロックの調整もヘルメットを正しくかぶるうえで大変重要な部分です。当説明書の該当項目をよくお読みのうえ、正しくかぶってください。

ヘルメットの正しいかぶり方

前から後ろにかけて水平になるようにかぶります。

ご注意

ヘルメットは正しい位置で正しくかぶり、チンストラップを正確に締める事で、はじめてヘルメット本来の安全性能を発揮します。
ヘルメットは走行前にしっかり正しく装着しましょう。

⚠警告 下記の文章は必ずお読みください。

⚠「チンストラップは必ずしっかり締めてください。」

チンストラップを締めなかったり締めかたが緩かったりすると、万一転倒したときなどに脱げてしまい、頭を守ることができず非常に危険です。
またヘルメットの下に、帽子・フード・バイザー・ヘッドフォン等を着用しないでください。ヘルメットがズレたり、脱落するおそれがあります。

⚠「大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上に損傷がなくても、ご使用にならないでください。」

ヘルメットはシェルおよび衝撃吸収ライナーが潰れることで、衝撃エネルギーを吸収します。大きな衝撃を受けたヘルメットは、既にライナーが潰れていることが多く、そのまま使用すると、再度衝撃吸収エネルギーを吸収できず非常に危険です。外観にキズがなくても使用しないでください。

⚠「ヘルメットの改造および分解は絶対にしないでください。」

ヘルメットに穴を開けたり、内部の衝撃吸収材を削ったり、またチンストラップなどは絶対に改造しないでください。
ヘルメット本来の性能が発揮できなくなり非常に危険です。

⚠「ヘルメットのお手入れは薄めた中性洗剤でふき取るようにしてください。」

ガソリン、シンナー、ベンジン、熱湯（50℃以上）や塩水等は絶対に使用しないでください。

⚠「ヘルメットのペイントは絶対にしないでください。」

衝撃吸収ライナーは、塗料や熱の影響により材質が侵され衝撃吸収力が低下する場合がありますので、ペイントは絶対におやめください。

⚠「ヘルメットは大切に取り扱ってください。」

ヘルメットは丈夫だからといって、床等に放り投げたり、上に座ったりしないでください。その度に衝撃を吸収するため衝撃吸収力が低下します。
万一のために大切に取り扱ってください。また、乗車時での頭を保護する以外の目的には使用しないでください。

⚠「ヘルメットの保管について」

ヘルメットは直射日光の当たる場所、車の中および、暖房機のそばなど、高温（50℃以上）の場所や、湿度の高い場所への長時間の放置を避け、風通しの良い場所で保管して下さい。ヘルメットに使われている材質等が変質して性能が低下するおそれがあります。

❗ご注意

ⓘ「長期間の日光照射によるシェルの変色について」

ヘルメットのカラーによっては、長期間日光を浴びることにより、シェル表面の色調が薄く変色する場合があります。

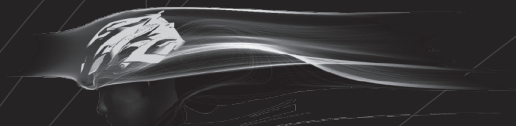
ⓘ「マット（つや消し）カラーについて」

マットカラーは表面処理の都合上、あらかじめ貼付されているステッカーをはがすと、表面のマット（つや消し）処理がはがれる事がありますので、ステッカーは絶対にはがさないでください。またお客様がご購入後にご自身で貼付したステッカーを再度はがし取る場合も、同様のことが考えられますので、ステッカーを貼付される際は十分にご注意ください。

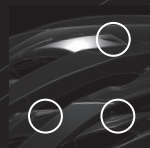
Instruction Manual

KOOFU CONCEPT

光風 Enlight+Wind　香風 Sense+Wind　好風 Favour+Wind　幸風 Wish+Wind
効風 Effect+Wind　交風 Cross+Wind　考風 Consider+Wind　…
風を楽しむ Enjoy the Wind

KOOFU / WG-1
FUNCTION 1

Double-Layered Shell

Wide double-layered shell ensures safety while keeping lightweight and sharp edgy look. The air route inside helmet is designed on CFD, Computational Fluid Dynamics, and the ideal airflow was analyzed on aerodynamics by Kabuto air tunnel experiments.
Achieving the constructive aerodynamics together with the Vortex Generator effect.

KOOFU / WG-1
FUNCTION 2

Vortex Generator

The small projections on the surface drag the wind, achieving to uniformize the air flow on various riding positions. Also help pull hot inner air to outside the helmet.

KOOFU / WG-1

FUNCTION 3

TRIFIT Adjuster

The newly designed adjuster system. More surfaces to secure head makes it even more comfortable under hard riding, giving the stable fit.

WG-1 NOTES BEFORE USE

Thank you for purchasing KABUTO helmet. This manual explains how to use your KABUTO helmet correctly.
Please take time to read this instruction manual before using the helmet, and keep the manual in a safe place for future reference. No helmet can protect the user 100% in any case of accidents, but it can reduce the risk of injury. Please make sure you understand the following warnings and enjoy riding your bicycle safely.

⚠ Warning!

- **This helmet is for bicycle use only. Do not use this helmet for motorcycle riding or any other activities.**
- **Please obey all traffic rules.**

Features of materials:

■ MOFF, the instant deodorizing fibre

The chinstraps and a part of A.I. Net for WG-1 use MOFF, the new deodorant fibre developed with nanotechnology, which employs a new odor elimination method never done before.
MOFF is the next-generation deodorizing fibre with instant odor elimination as well as antibacterial effect and safety characteristics.
[How to clean MOFF material]
In order to keep effectiveness of MOFF material, gently wash with cool or warm water (below 35ºC/95ºF.) Towel dry and place it in a shaded and ventilated area. When using a cleaner, use mild soap. (Do not use alkaline or similar detergent.)

■ COOLMAX® for quick sweat evaporation and constant dry comfort COOLMAX®

When you perspire, COOLMAX® wicks the moisture and takes in outside air to cool and dry your skin to control your body temperature. COOLMAX® is a naturally soft-textured, lightweight, and breathable material.

*COOLMAX is a registered trademark of INVISTA.

FRONT

Shell

Liner

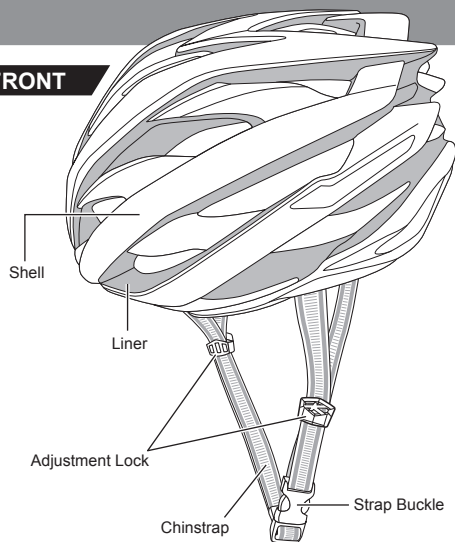
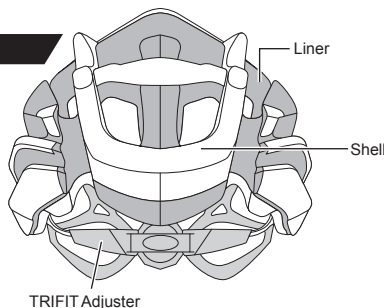
Adjustment Lock

Chinstrap

Strap Buckle

REAR

Liner

Shell

TRIFIT Adjuster

KOOFU CONCEPT · · · 15

NOTES BEFORE USE · · · 17

Features of materials · · · 17

Part Names and Table of Contents · · · 18

01 Chinstraps · · · 19
- Fastening the Strap Buckle · · · 19
- Adjusting the Chinstrap · · · 19
- Adjusting Adjustment Locks · · · 20

02 TRIFIT Adjuster · · · 21
- Adjusting TRIFIT Adjuster Dial · · · 21
- Arranging TRIFIT Adjuster Position · · · 21
- Detach/ Attach TRIFIT Adjuster · · · 22
- Replacement "TRIFIT Adjuster" · · · 22

03 Linings · · · 23
- Replacing A.I. Net (Anti Insect Net) and Winter Inner Pad · · · 23
- Replacing Normal Inner Pads · · · 24
- How to Clean Linings · · · 24
- Replacement "WG-1 Linings" · · · 24

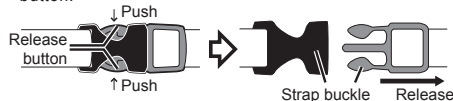
04 Wearing Helmet Properly · · · 25

Warning! · · · 26

01 Chinstraps

Chinstraps play an important role under an accident, preventing the helmet from coming off.
In order to maintain the original performance of the helmet, make sure to adjust "Chinstraps length" and "Adjustment locks positions" properly and fasten "Strap buckle" correctly.

Fastening the Strap Buckle

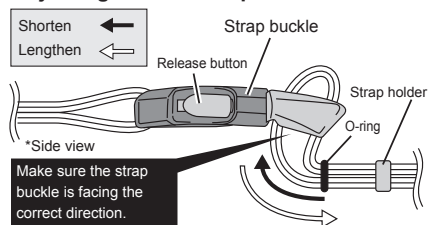
Strap buckle is the retention system at the end of both chinstraps.

⚠ Warning!

- Make sure to fasten the strap firmly. It is dangerous to ride a bicycle without fastening the chinstrap.
- If the strap buckle is not fastened (ie, you don't hear it click), or if it is fastened loosely, the helmet may come off in an accident, leading to death or serious injury.

Adjusting the Chinstrap

Try on the helmet before use!

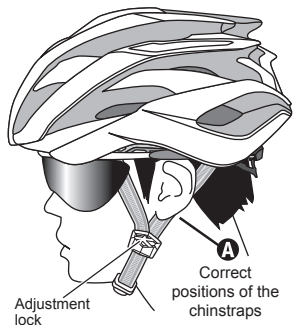
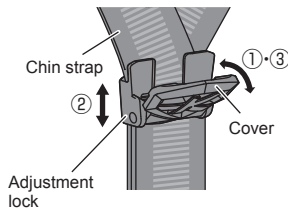
Adjust the chinstrap to fit your head. It generally should be just long enough to leave space for 2 to 3 fingers horizontally when fastening the chinstrap.
Try on your helmet before riding, and adjust the length of the "chinstrap", the position of the "adjustment locks" and the fit of "TRIFIT Adjuster" to fit helmet to your head.
See "02: TRIFIT Adjuster" for how to adjust TRIFIT Adjuster

Adjusting the Chinstrap

Bind the strap with the "O-Ring" and "Strap holder" at the end.

⚠ Warning!

- It is very dangerous if the chinstrap is not inserted in the way as illustrated.
  It can be slipped out when subjected to a strong pressure such as fall, and the helmet may come off.
  Make sure to insert the chinstraps into the buckles properly as the illustration.
- It is very dangerous if the strap buckle is inserted upside down.
  The chinstrap will be loose and the helmet will not fit your head firmly.

Adjusting Adjustment Locks

Put on the helmet, fasten the strap buckle and adjust the adjustment locks so they can be placed firmly on the side of your face. Check that the Ⓐ part is placed correctly. If the chinstrap around your ears is loose or tight, change the position of the adjustment lock.

● How to change the adjustment lock position

①Open the cover of the adjustment lock in the direction shown by the arrow.

②Move the adjustment lock up or down to change the position.

③When the adjustment lock is placed properly, close the cover until you hear a snapping sound.

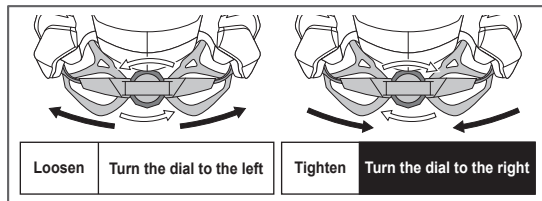
⚠ Warning!

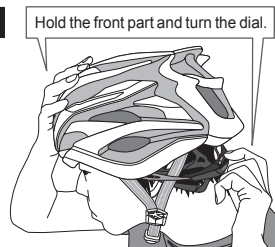
Lock the cover securely after changing the position of the adjustment locks. If the helmet is used without locking the cover securely, the strap will be loose and the helmet may come off.

02 TRIFIT Adjuster

"TRIFIT Adjuster" is the mechanism at the rear of the helmet to keep the helmet from moving.
Adjust TRIFIT Adjuster so it will keep the helmet on your head securely.

Adjusting TRIFIT Adjuster Dial

First, loosen TRIFIT Adjuster dial, and put on the helmet.
Then, hold the front side of the helmet against your head and tighten the adjuster dial.

Warning!

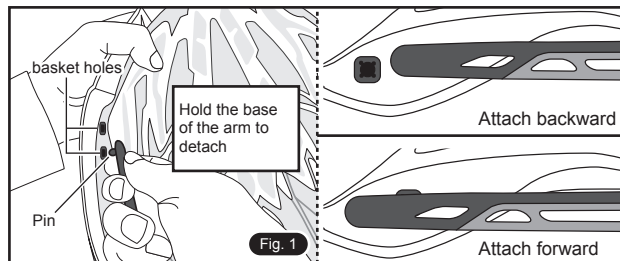
- Use the Adjuster dial for adjustment. Do not forcibly loosen/tighten the adjuster without using the dial. It may break the mechanical system inside the dial.
- Be careful with your hair, especially long hair, so it does not get tangled in the TRIFIT Adjuster.

Hold the front side of the helmet and tighten the TRIFIT Adjuster using the adjuster dial.

Arranging TRIFIT Adjuster Position

You can change the position of TRIFIT Adjuster either backward or forward with its arm, and to 3 different angles at the rear. Select the most comfortable angle.

■Switching the arm attachment position (backward and forward)

When switching the arm position either to backward or forward, make sure to hold near the base of the arm attaching part. Pull gently and it can be removed. When attaching, push the pin at the edge of the arm into the basket hole (Fig.1).

* If the fitting is loose even after TRIFIT Adjuster is tightened maximum, attach the arms into the forward holes.

■**Adjusting TRIIFIT Adjuster Angle (low, mid or high)**
Hold near the base of TRIFIT Adjuster and slide it up or down (low, mid or high) to adjust the angle. (Fig. 2)
The forth bigger hole at the bottom is used to detach/ attach TRIFIT Adjuster (Fig.3). Make sure to change the angle carefully, or the adjuster will be detached from the fourth hole.

⚠ Warning!

When adjusting the angle of TRIFIT Adjuster, make sure to hold near the base of the adjuster. Do not force or twist the adjuster as this may break the adjuster.

Fig. 2

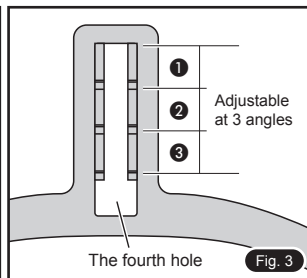
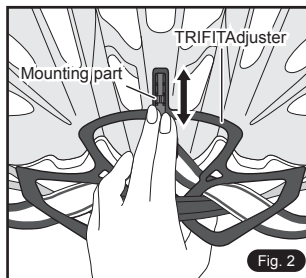



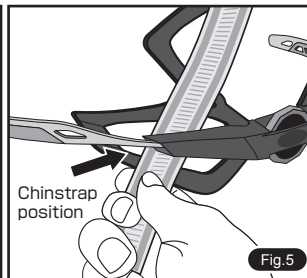
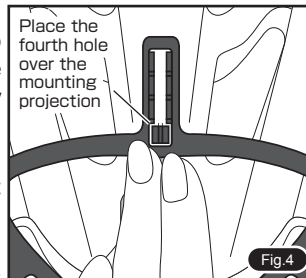
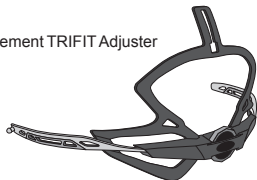
Fig. 3

Detach/ Attach TRIFIT Adjuster

■**Detach**
Hold the bottom of TRIFIT Adjuster mounting part and slide to the fourth bigger hole as indicated in (Fig.3). Then hold the base of the arm mounting part securely and pull gently. By doing so with the both arms, the Adjuster will be removed.

■**Attach**
Push the pins at the both edges of the arm into the basket holes. Then place the fourth hole over the mounting projection at the rear, and slide into it by pushing. (Fig. 4) After attaching, make sure the chinstraps are placed in the position as indicated in (Fig. 5).

Fig.4

Fig.5

Replacement "TRIFIT Adjuster"

Replacement TRIFIT Adjuster is available.

Please refer to Parts List on our website for more information about replacement.

http://www.ogkkabuto.com

⚠ Warning!

Every adjuster of KABUTO, including TRIFIT Adjuster is designed exclusively for a particular model. Be sure to purchase a replacement adjuster compatible with your helmet.

03 Linings

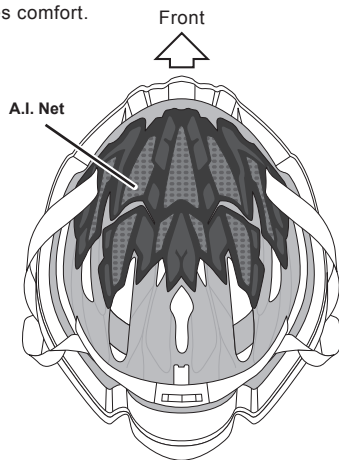
Three types of linings are packaged standard that can be changed according to usage, desired fit, and weather. Choose the pads that fit your needs. (A.I. Net is attached at factory.)

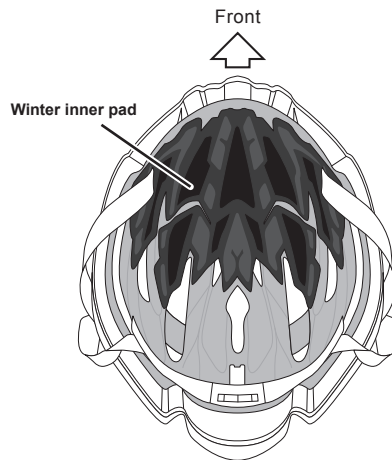
Replacing A.I. Net (Anti Insect Net) and Winter Inner Pad

Securely attach the linings to the hook-and-loop fastener inside the helmet as indicated.

■ **A.I. Net** *Attached at factory

● Prevents insects from coming in through air intake.

● Improves comfort.

■ **Winter inner pad** *Packaged

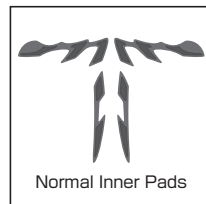
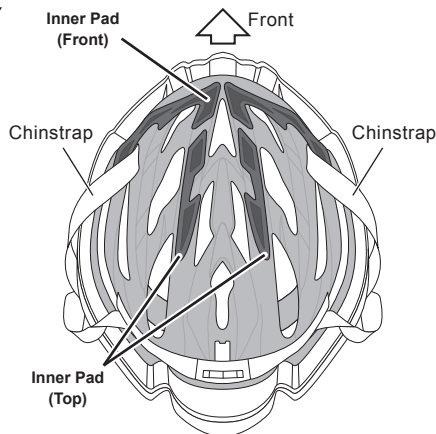
● Reduces air intake in cold winter weather.

⚠ Warning!

Attach linings correctly. Otherwise, the helmet may be uncomfortable.

Replacing Normal Inner Pads

■Normal Inner Pads *Packaged

● Improves air intake

Two pads (5mm/10mm) of different thickness are packaged standard. Change them in order to achieve a better fit if necessary.
Securely attach the inner pads to the hook-and-loop fasteners inside the helmet, as indicated in the figure.

⚠ Warning!

Attach linings correctly.
Otherwise, the helmet may be uncomfortable.

How to Clean Linings

Linings are removable and washable. Keep linings clean by washing periodically. Use warm water (35ºC/95ºF or cooler) with small amount of hair shampoo or ph-neutral detergent. Hand wash them gently and rinse thoroughly. Dry linings with a dry cloth after washing, and leave them in a shaded and well-ventilated place. Avoid direct sunlight.
* See Page17 for MOFF cleaning

Replacement “WG-1 Linings”

Linings wear out over time!

Linings used every day will wear out over time. Continuing to use worn linings may lead them to break and cause poor fit. Old linings should be replaced at an early stage.

Please refer to Parts List on our website for more information about replacement.
http://www.ogkkabuto.com

⚠ Warning!

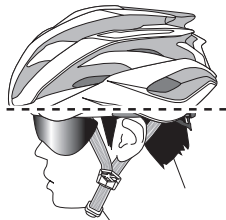
Contact the shop you purchased the helmet when you purchase a replacement linings. Make sure the model of your helmet.

04 Wearing Helmet Properly

Wear the helmet so it is level from front to back. Make sure the front of the helmet is just above your eyebrows (check with a mirror.)
It is important that the length of the chinstrap and adjustment lock be adjusted for correct fitting.
Please make sure to read these Instructions thoroughly before use.

Wearing your helmet properly

RIGHT

Make sure the front edge of the helmet is just above your eyebrows.
Wear helmet level from front to back.

WRONG

The front of the helmet is too far up, and your forehead is not properly covered.

⚠ Warning!

Your helmet is only effective as protection in case of an accident if it is positioned correctly on your head and the strap is fastened correctly. Be sure you are wearing the helmet correctly before riding.

⚠ Warning! Be sure to read these instructions.

- This helmet is designed for bicycle use only. Never use the helmet for purposes or activities other than bicycle riding.
- The helmet should be worn in a way that it protects your forehead, with the edge just above your eyebrows, and never pushed far over the back of your head. Wear the helmet so it is level from front to back.
- No helmet can protect the wearer against all injuries or foreseeable impacts.
- Before riding a bicycle, make sure to adjust the helmet so it fits your head correctly. The strap should be positioned not to cover the ears, the buckle positioned away from the jawbone, and the strap and buckle adjusted to be both comfortable and secure.
- Your helmet is effective as protection only when it is worn properly. You should try different sizes to choose the size which feels secure and comfortable on your head at time of purchase.
- Please handle the helmet with care. The helmet is designed to absorb shock by partial destruction of the liner and its damage may not be visible. DO NOT sit on it, drop it on the floor or otherwise cause impact.
- If subjected to a severe impact, the helmet should be discarded and destroyed.
- Wipe the helmet with common ph-neutral detergent diluted with clear water.
  Never use any petroleum, thinner, benzine, hot water above 50°C/122ºF or saline water.
- Do not leave the helmet in the direct sunlight or where the temperature may surpass 50ºC/122ºF such as in a car or near a heater, and/or avoid leaving in a humid place for a long time. Doing so will affect the materials and the performance of the helmet will diminish.
- Do not paint the helmet. Paints may reduce the original protective performance of the helmet considerably.
- Do not modify the helmet. In order to fully maintain the performance of the helmet, do not attempt to take it apart or change it in any manner that involves making holes in it or cutting it (or any of its parts) other than as recommended by the manufacturer.
- This helmet should not be used by children while climbing or doing other activities when there is a risk of strangulation/hanging if the child gets trapped with the helmet.

⚠ Warning!

(!) THE EFFECTS OF THE DIRECT SUNLIGHT

Do not leave the helmet in the direct sunlight. The outer colour of the shell may be changed.

(!) CAUTION FOR MATTE COLOUR PRODUCT

Matte processing on the surface of this product could be peeled off if the attached sticker is removed from the surface. To prevent this, never remove the sticker. The same problem may occur also when other sticker are attached and removed. If you attach stickers on the product, please be aware of the risk.